

# 国際ロータリー第 2820 地区 戦略計画 (2022-23)

## 地区ビジョン

国際ロータリー第 2820 地区は、地区内ロータリークラブが、ロータリーの目的を理解し、中核的価値観を基に個性あるビジョンを持ち、多様性・公正さ・インクルージョンなどの柔軟性を備えた活力あるクラブを目指し、地域社会や世界社会によい変化をもたらすために行動できるよう支援する。

## ビジョンに向けた優先事項

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかわりを促す
4. 適応力を高める

## 重点施策と目標

1. より大きなインパクトをもたらす
  - ① ロータリー財団の活用と支援  
ポリオ根絶の達成と地域社会・世界社会への貢献  
そのためのロータリー財団への寄付の増進
  - ② 米山記念奨学会の支援
  - ③ 公共イメージの向上  
地区ホームページの充実と情報の共有化及び SNS 活用の支援  
メディアとの関係強化とロータリー活動の発信  
「世界を変える行動人」キャンペーン、ロータリー奉仕デーの開催
  - ④ ロータリー賞の獲得  
2022-23 年度目標 = 全クラブ受賞
2. 参加者の基盤を広げる
  - ① 会員基盤強化の支援  
会員増強：2,000 名の回復を目標とする（各クラブ純増 2 名）  
会員維持：既存会員維持率 89.6%→95%、新会員維持率 91.3%→98%（3 年後）  
衛星クラブ・新クラブの設立：年間各 1 クラブ  
女性会員比率：8%→15%（2023-2024 に 15%達成）  
若い世代の取り組み強化

- ② クラブ戦略計画の推進
  - クラブ戦略計画立案の支援（各クラブでの戦略立案会議の開催）
  - 会員基盤向上セミナーの開催
  - 出前卓話の実施（戦略計画・会員基盤増強・クラブセントラル活用）
- 3. 参加者の積極的なかかわりを促す
  - ① クラブリーダーの育成
    - R L I のセミナーの継続開催
    - 新会員オリエンテーションの開催
    - 地区各委員会から出前卓話講師派遣
  - ② 奉仕プロジェクトの創出
    - 社会奉仕・国際奉仕委員会による人道的奉仕プロジェクトの立案・実施の支援
    - 米山学友会、ローターアクト・インターアクトクラブとの合同奉仕活動の奨励
  - ③ 青少年プログラムの充実
    - ローターアクト・インターアクトクラブ複数クラブ及び分区提唱の支援
    - 地区学友会によりロータリーファミリーの拡大
- 4. 適応力を高める
  - ① 地区管理運営の効率化
    - 地区運営の簡素化と効率化によるクラブの人的負担の軽減
    - 持続可能な委員会編成による地区内会員のエンパワーメント  
（同一委員会3年任期とし、最長継続期間は6年を限度とする）
    - クラブに対するサービスの向上
    - 地区組織の見直しと簡素化によるDLPの効率的な運用
    - 横断的な地区委員会の連携強化と情報の共有化
    - ガバナー補佐の責任と権限の明確化とガバナーとの連携強化
  - ② クラブの多様性と柔軟性の増進
    - クラブ運営の簡素化を奉仕プロジェクトの充実
    - クラブ細則改正を見直しへの協力
    - 衛星クラブ・新クラブ設立の支援
  - ③ My ROTARY・クラブセントラルの活用推進
    - My ROTARY の登録を支援：目標70%
    - ロータリー・クラブセントラルへの目標入力向上と活用支援：100%

注）この戦略計画は毎年見直し改正する